

公式記録

平成21年度兵庫県高等学校サッカー新人大会

準決勝 【38】

主審
署名 **梶原 彰一**

日時 2010年2月11日(木) 13:00 キックオフ 会場 ア斯巴五色メイングラウンド

天候 雨 風 中風 ピッチ (芝)・クレー 状態 (良好)・不良・泥沼 試合形式 70分/延長 分 PK戦 有

MF/MF/MF ナー 辺見 康裕 会場主任 神原 吾朗 記録 田坂 昌彦 / 笠原 弘樹 観衆 300人

主審 梶原 彰一 副審1 小川 耕司 副審2 大前 毅 第4の審判員 吉本 忠義

チーム名	kick off	2	前半	0	チーム名	kick off	0	後半	0
滝川第二高校	先	2	延前		相生産業高校	先	0	延後	
	背番号		延後			背番号		PK戦	
	○×					○×			

交代	シュート				得点	選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	得点	シュート				交代	
	No.	OUT時間	延後	延前									後半	前半	前半	後半		延前
						下出 晃輔	2年	1	GK	GK	1	田淵 旭	2年					分
						島 秀行	2年	2	DF	DF	18	有澤 徹	1年					分
						亀岡 淳平	1年	5	DF	DF	4	山本 篤司	1年					分
						西村 拓記	2年	3	DF	DF	16	中川 和也	2年					分
						濱田 量也	2年	14	DF	DF	22	清水 聖馬	1年					HT 分
						香川 勇気	2年	15	MF	MF	3	青木 勝史	2年					61分
						谷口 智紀	2年	⑦	MF	MF	⑩	小田 浩平	2年					分
						杉元 義紀	2年	17	MF	MF	8	武内 智紀	2年					61分
						本城 信晴	2年	9	MF	MF	2	山本 龍	2年					分
						白岩 涼	2年	13	FW	FW	19	河東 諒	1年					分
						宮本 量介	1年	16	FW	FW	9	永石 敬泉	2年					分
						清水 貴大	1年	21	GK	FW	5	久保 翔一	1年					分 22
14						平田 雄己	1年	23	DF	MF	17	井手 直人	2年					分
17						筒井 亮磨	1年	24	MF	FW	6	横谷 元気	1年					分 3
						高原 真峰	2年	18	DF	MF	20	金澤 勇作	2年					分
						土師 直大	2年	4	DF	MF	7	前田 悠樹	1年					分 8
						樋口 寛規	2年	10	FW	GK	21	平田 汰一	2年					分
						常峰 雅文	2年	11	FW	MF	23	田中 将悟	1年					分
7						槇島 隆介	1年	22	MF	DF	24	柳生 啓太	1年					分
13						西原 凌也	1年	25	FW	DF	11	吉田 幸平	1年					分

時間	警・退	No.	氏名	事由	梶 裕保				監督				稲田 隆士				時間	警・退	No.	氏名	事由
					合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	2分	警告	22	清水 聖馬	反スポ	
					20			11	9	シュート	0	0			0	25分	警告	18	有澤 徹	ラフ	
					1			0	1	GK	13	12			25						
					8			4	4	CK	0	2			2						
					3			0	3	直接FK	3	4			7						
					1			0	1	間接FK	0	1			1						
					1			0	1	(おかし)	0	0			0						
					0			0	0	PK	0	0			0						

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過] 略号例: ドリブル~・コロのパス→・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シュートS															
		9分	滝川第二	13	白岩	1-0	左	⑮	○	中央	⑬	H	S								
	19分	滝川第二	13	白岩	2-0	右	⑨	○	中央	⑬	S										
	分				-																
	分				-																
	分				-																
	分				-																
	分				-																
	分				-																
	分				-																

戦評者 所属【 加古川西・須磨友が丘 】 氏名【 有馬・尾崎 】

滝川第二4-4-2、相生産業4-2-3-1のシステムでスタート。相生産業は立ち上がり、中央を固めバイタルエリアを閉じる守備ブロックを形成するが、滝川第二はサイドの高い位置に開いたMFのクロスボールから得点をうかがう。滝川第二は攻守の切り替えも早く、ボールを失ってもすぐにディフェンスをはじめ、9分、⑬白岩が奪ったボールを左サイドの⑮香川に繋ぎ、ニアに入ったクロスに⑬白岩が飛び込み頭で合わ先制。19分にも相生産業がボールを奪い攻撃に転じようとするが、滝川第二の素早いチェックからボールを奪われ、押し上げようとしたディフェンスラインの裏にボールを通され⑬白岩に2点目を奪われた。相生産業は最後まで集中を切らさず健闘したものの、奪ったボールをスピードのある⑨永石に繋げず、最後までラインを押し上げることができずに攻撃の形が作れなかった。